**板橋区障がい者虐待の通報等受付状況**

|  |  |
| --- | --- |
| 平成30年11月19日（月） | 資料2 |
| 平成30年度第1回権利擁護部会 | |

１　受付場所別の内訳

※（　）は、総件数から同一障がい者に係る通報等の重複分を除いた実件数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付場所 | 29年度 | 30年度（9月末まで） |
| 虐待防止センター | １５（１１） | １０（９） |
| 福祉事務所（３ヶ所） | ２（２） | ２（２） |
| 健康福祉センター（５ヶ所） | ０（０） | ２（２） |
| 障がい者福祉課 | ７（７） | ８（８） |
| 予防対策課 | ０（０） | ０（０） |
| 合　計 | ２４（２０） | ２２（２１） |

２　相談・通報・届出者の内訳

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相談・通報・届出者 | 29年度 | 30年度（9月末まで） |
| 障がい者本人 | ８ | ３ |
| 家族・親族 | １ | ５ |
| 近隣住民・知人 | ３ | １ |
| 福祉サービス関係者 | ４ | ７ |
| 医療関係者 | ０ | １ |
| 行政・教育機関 | ４ | ４ |
| その他・不明 | ０ | ０ |
| 合　計 | ２０ | ２１ |

３　被虐待者の障がい別内訳

※通報時本人より申告のあった種別（重複障がいは、それぞれに計上）

※H30は9月末時点の人数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 障がい | 身体 | | 知的 | | 精神 | | 不明 | |
| 年度 | Ｈ29 | Ｈ30 | Ｈ29 | Ｈ30 | Ｈ29 | Ｈ30 | Ｈ29 | Ｈ30 |
| 人数 | ２ | ２ | ８ | １３ | ７ | ４ | ５ | １ |

４　虐待者の内訳

※（　）は、総件数から同一障がい者に係る通報等の重複分を除いた実件数

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 虐待者 | 29年度 | | 30年度（9月末まで） | |
| 総件数  （実件数） | 虐待認定  件数 | 総件数  （実件数） | 虐待認定  件数 |
| 養護者 | １３（９） | ０ | １１（１１） | １ |
| 障害者福祉  施設従事者等 | ８（８） | ０ | ８（７） | １ |
| 使用者 | ３（３） | ０ | １（１） | １ |
| その他 | ０（０） | ０ | ２（２） | ０ |
| 合　計 | ２４（２０） | ０ | ２２（２１） | ３ |

５　虐待の事実が認められた事案

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| NO | 種別 | 主な虐待内容 | 状況・対応等 |
| １ | 障害者福祉  施設従事者等 | 施設利用者が鼻から出血しているにも関わらず、鼻を穿っていたため施設従事者が制止すべく、穿る手を叩いた。 | 障がい者福祉課職員が虐待者に対して事実確認し、施設からの改善報告書を東京都へ提出した。 |
| ２ | 使用者 | 社員（障がい者）に対して、日常的に暴言等を行っていた。 | 東京都労働局へ情報提供。  後日、労働局が事実確認し、当該事業所に対して指導した。 |
| ３ | 養護者 | 子（障がい者）に対して暴力を行った。 | 子の世話に伴う養護者への負担が過重と判断したため、レスパイトをさせるべく子の短期入所先等をともに探した。 |